



## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年11月2日

上場会社名 佐藤食品工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2814 URL <https://www.sato-foods.co.jp>  
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 上田 正博  
 問合せ先責任者（役職名） 管理部長（氏名） 那須 智 (TEL) 0568-77-7316  
 四半期報告書提出予定日 2023年11月10日 配当支払開始予定日 2023年12月1日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

## 1. 2024年3月期第2四半期の業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

## （1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	2,934	5.2	260	0.8	331	3.8	261	23.4
2023年3月期第2四半期	2,789	5.0	258	△29.9	319	△24.5	211	△37.0
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
		円 銭		円 銭				
2024年3月期第2四半期		64.33		63.76				
2023年3月期第2四半期		50.22		49.73				

## （2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	21,373	19,494	91.0
2023年3月期	20,491	19,041	92.7

（参考）自己資本 2024年3月期第2四半期 19,458百万円 2023年3月期 19,000百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	15.00	—	20.00	35.00
2024年3月期	—	18.00			
2024年3月期(予想)			—	20.00	38.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年3月期の業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,050	2.9	653	5.7	754	△1.3	553	43.9	136.26

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料9ページ「(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2024年3月期2Q	9,326,460株	2023年3月期	9,326,460株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2024年3月期2Q	5,261,532株	2023年3月期	5,271,412株
------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2024年3月期2Q	4,059,852株	2023年3月期2Q	4,215,048株
------------	------------	------------	------------

(注) 期末自己株式数には、「従業員株式給付信託 (J-ESOP)」の信託財産として(株)日本カストディ銀行 (信託E口) が保有する当社株式 (2024年3月期2Q 159,900株、2023年3月期 160,000株) が含まれております。また、(株)日本カストディ銀行 (信託E口) が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。(2024年3月期2Q 159,900株、2023年3月期2Q 0株)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	9
(追加情報) .....	9
(セグメント情報) .....	9
3. その他 .....	10
生産、受注及び販売の状況 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付け変更に伴う行動制限の緩和や、訪日外国人旅行者数が感染拡大前の水準まで回復したことから、人流が回復するなど社会経済活動の正常化が進み、個人消費に持ち直しの動きが見られました。一方で、物価上昇による消費マインドの低下が懸念されることや、国内外の金利差拡大による円安の進行など、依然として先行き不透明な状況が続いております。海外経済につきましては、欧米を中心とした金融引き締めによる景気の下振れリスクや、ロシア・ウクライナ情勢をはじめとする地政学リスクの顕在化など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社といたしましては、変化、多様化する消費者ニーズや顧客ニーズを的確に把握し、それらのニーズに合致した高付加価値製品の開発を実現すべく、新技術開発や新製法の確立に挑戦していくとともに、高止まりする原材料コストなどの動向を注視しながら事業活動を継続してまいりました。

このような状況のもと、当社の当第2四半期累計期間における売上実績は、茶エキスを中心に緩やかな回復基調で推移しました。

茶エキスにつきましては、ほうじ茶エキスが減少したものの、緑茶エキス・紅茶エキス等が増加したため、売上高は1,297百万円(対前年同四半期比15.0%増)となりました。

粉末天然調味料につきましては、粉末ソース等が増加したものの、粉末鰹節・粉末魚介等が減少したため、売上高は849百万円(同4.6%減)となりました。

植物エキスにつきましては、野菜エキスが減少したものの、果実エキス等が増加したため、売上高は392百万円(同6.7%増)となりました。

液体天然調味料につきましては、鰹節エキス等が増加したものの、椎茸エキス等が減少したため、売上高は337百万円(同1.6%減)となりました。

粉末酒につきましては、清酒タイプ等が増加したものの、ワインタイプ・ラムタイプ等が減少したため、売上高は53百万円(同2.0%減)となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は2,934百万円(同5.2%増)となり、前年同四半期に比べ145百万円増加しました。

利益面につきましては、売上高の増加により営業利益は260百万円(同0.8%増)、経常利益は331百万円(同3.8%増)となりました。また、法人税等73百万円(同23.8%増)を計上したため、四半期純利益は261百万円(同23.4%増)となりました。

なお、当社は食品加工事業の単一セグメントであるため、セグメント情報は記載しておりません。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末における資産合計は21,373百万円となり、前事業年度末に比べ882百万円増加しました。

流動資産については12,409百万円となり、前事業年度末に比べ641百万円増加しました。主に、売上債権が306百万円、現金及び預金が271百万円、それぞれ増加したことによります。

固定資産については8,964百万円となり、前事業年度末に比べ240百万円増加しました。主に、繰延税金資産が81百万円減少したものの、投資有価証券が389百万円増加したことによります。

負債合計は1,879百万円となり、前事業年度末に比べ428百万円増加しました。

流動負債については1,700百万円となり、前事業年度末に比べ320百万円増加しました。主に、仕入債務が145百万円、未払法人税等が73百万円、それぞれ増加したことによります。

固定負債については179百万円となり、前事業年度末に比べ108百万円増加しました。主に、従業員株式給付引当金として77百万円計上したことによります。

純資産合計は19,494百万円となり、前事業年度末に比べ453百万円増加しました。主に、配当金の支出により84百万円減少したものの、四半期純利益261百万円を計上し、その他有価証券評価差額金が270百万円増加したことによります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ271百万円増加し、9,277百万円となりました。

なお、当第2四半期累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における営業活動による資金の増加は、414百万円(前年同四半期は397百万円の増加)となりました。これは主に、税引前四半期純利益334百万円及び、仕入債務の増減額145百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における投資活動による資金の減少は、58百万円(前年同四半期は186百万円の減少)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出39百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における財務活動による資金の減少は、84百万円(前年同四半期は84百万円の減少)となりました。これは主に、配当金の支払額84百万円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の業績予想につきましては、2023年5月12日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表いたしました「2024年3月期第2四半期累計期間業績予想値と実績値との差異及び2024年3月期通期業績予想の修正並びに剰余金の配当(中間配当・増配)に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、実際の業績はさまざまな要因により大きく異なる可能性があるため、今後、業績予想の修正が生じる場合は、速やかにお知らせいたします。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,005,793	9,277,709
受取手形及び売掛金	1,207,468	1,514,026
製品	735,053	686,024
仕掛品	374,367	427,631
原材料及び貯蔵品	382,496	385,964
その他	63,348	118,606
貸倒引当金	△370	△470
流動資産合計	11,768,158	12,409,494
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,407,577	1,380,471
機械及び装置(純額)	809,666	765,251
土地	2,558,304	2,558,304
建設仮勘定	8,273	4,163
その他(純額)	129,309	129,862
有形固定資産合計	4,913,130	4,838,053
無形固定資産	29,737	26,799
投資その他の資産		
投資有価証券	3,399,878	3,789,375
破産更生債権等	1,408,334	1,408,323
繰延税金資産	81,995	—
その他	298,774	310,142
貸倒引当金	△1,408,334	△1,408,323
投資その他の資産合計	3,780,649	4,099,518
固定資産合計	8,723,517	8,964,371
資産合計	20,491,675	21,373,865

(単位:千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	310,053	455,837
短期借入金	670,000	670,000
未払金	97,019	140,392
未払法人税等	29,609	102,807
賞与引当金	132,000	132,000
その他	141,452	199,125
流動負債合計	1,380,133	1,700,163
固定負債		
役員退職慰労引当金	14,580	14,580
従業員株式給付引当金	—	77,496
繰延税金負債	—	31,295
資産除去債務	55,649	55,649
固定負債合計	70,229	179,020
負債合計	1,450,362	1,879,184
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,672,275	3,672,275
資本剰余金	4,439,113	4,443,963
利益剰余金	13,514,596	13,691,482
自己株式	△3,663,979	△3,657,330
株主資本合計	17,962,006	18,150,390
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,038,094	1,308,570
評価・換算差額等合計	1,038,094	1,308,570
新株予約権	41,212	35,720
純資産合計	19,041,312	19,494,681
負債純資産合計	20,491,675	21,373,865

## (2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
売上高	2,789,002	2,934,550
売上原価	2,095,560	2,224,613
売上総利益	693,441	709,937
販売費及び一般管理費	435,102	449,471
営業利益	258,339	260,466
営業外収益		
受取利息	567	566
有価証券利息	98	244
受取配当金	59,722	64,161
貸倒引当金戻入額	47	10
その他	3,470	8,236
営業外収益合計	63,906	73,219
営業外費用		
支払利息	1,850	1,882
投資有価証券償還損	536	—
その他	60	0
営業外費用合計	2,447	1,882
経常利益	319,798	331,803
特別利益		
受取損害賠償金	491	3,186
特別利益合計	491	3,186
特別損失		
損害賠償金	3,113	—
固定資産除却損	290	522
投資有価証券評価損	46,044	—
特別損失合計	49,448	522
税引前四半期純利益	270,841	334,467
法人税等	59,177	73,281
四半期純利益	211,664	261,186



## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	270,841	334,467
減価償却費	143,882	139,969
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△583	89
賞与引当金の増減額(△は減少)	15,000	—
従業員株式給付引当金の増減額(△は減少)	—	77,496
保険解約損益(△は益)	△450	△971
受取利息及び受取配当金	△60,388	△64,972
支払利息	1,850	1,882
有形固定資産除却損	290	522
投資有価証券評価損益(△は益)	46,044	—
投資有価証券償還損益(△は益)	536	—
受取損害賠償金	△491	△3,186
損害賠償金	3,113	—
売上債権の増減額(△は増加)	55,162	△306,558
棚卸資産の増減額(△は増加)	△5,892	△8,179
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△53,304	△67,631
仕入債務の増減額(△は減少)	△6,282	145,784
未払金の増減額(△は減少)	△17,912	23,295
未払費用の増減額(△は減少)	6,799	186
未払消費税等の増減額(△は減少)	△16,116	43,498
破産更生債権等の増減額(△は増加)	948	10
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△1,932	16,449
その他	5,585	5,886
小計	386,698	338,039
利息及び配当金の受取額	60,533	64,920
利息の支払額	△1,848	△1,878
損害賠償金の受取額	491	3,186
損害賠償金の支払額	△1,309	—
法人税等の支払額	△47,450	△2,542
法人税等の還付額	—	12,631
営業活動によるキャッシュ・フロー	397,114	414,356

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△261,687	△39,664
無形固定資産の取得による支出	—	△2,346
投資有価証券の取得による支出	△4,975	△5,778
投資有価証券の償還による収入	100,000	—
長期前払費用の取得による支出	△7,857	—
その他の支出	△12,625	△12,970
その他の収入	1,105	2,574
投資活動によるキャッシュ・フロー	△186,041	△58,187
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	—	△50
自己株式の売却による収入	—	9
配当金の支払額	△84,095	△84,212
財務活動によるキャッシュ・フロー	△84,095	△84,252
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	126,978	271,916
現金及び現金同等物の期首残高	9,182,619	9,005,793
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,309,598	9,277,709

#### (4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には法定実効税率を使用しております。

(追加情報)

(従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引)

当社は、2022年11月4日開催の取締役会決議に基づき、当社の株価や業績と従業員の処遇の連動性をより高め、経済的な効果を株主の皆様と共有することにより、株価及び業績向上への従業員の意欲や士気を高めるため、従業員に対して自社の株式を給付するインセンティブプラン「株式給付信託(J-ESOP)」(以下「本制度」といい、本制度に関してみずほ信託銀行株式会社と締結する信託契約に基づいて設定される信託を「本信託」といいます。)を2022年11月25日より導入しております。

(1) 本制度の概要

本制度は、米国のESOP(Employee Stock Ownership Plan)制度を参考にした信託型のスキームであり、予め当社が定めた株式給付規程に基づき、一定の要件を満たした当社の従業員に対し当社株式を給付する仕組みです。当社は、従業員に対し勤続年数に応じたポイントを、加えて管理職には管理職ポイントを付与し、一定の条件により受給権を取得したときに当該付与ポイントに相当する当社株式を付与します。管理職を含めた従業員に対し給付する株式については、予め信託設定した金銭により将来分も含め取得し、信託財産として分別管理するものとします。本制度に係る当第2四半期会計期間末の負担見込額については、従業員株式給付引当金として計上しております。

(2) 本信託に残存する自社の株式

本信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く。)により、純資産の部に自己株式として計上しております。本信託に残存する当社株式の帳簿価額及び株式数は、前事業年度 257,120千円、160,000株、当第2四半期会計期間 256,959千円、159,900株であります。

(セグメント情報)

当社は、食品加工事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

## 3. その他

## 生産、受注及び販売の状況

## ①生産実績

当第2四半期累計期間における生産実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目	生産高(千円)	前年同四半期比(%)
茶エキス	1,351,536	16.3
粉末天然調味料	821,344	0.6
植物エキス	390,551	0.6
液体天然調味料	331,171	0.0
粉末酒	51,140	7.9
合計	2,945,745	7.3

(注)金額は、販売価格によっております。

## ②受注実績

当社は、見込み生産を行っているため、該当事項はありません。

## ③販売実績

当第2四半期累計期間における販売実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
茶エキス	1,297,897	15.0
粉末天然調味料	849,590	△4.6
植物エキス	392,838	6.7
液体天然調味料	337,979	△1.6
粉末酒	53,712	△2.0
その他	2,532	△12.2
合計	2,934,550	5.2

(注)主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合

相手先	前第2四半期累計期間		当第2四半期累計期間	
	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)
(株)伊藤園	292,525	10.5	389,965	13.3
風商事(株)	282,721	10.1	329,430	11.2
三菱商事ライフサイエンス(株)	302,084	10.8	316,893	10.8